

日本労働組合會議が健全なる労働組合主義の大旗を高揚し我國の組織労働者を統一し、以來一年余
其の地方延長機関として組織された日本労働組合會議九州地方協議會の元種ある第四年度大會を迎
へた。二十一年は九州地方の戦線に於けるのみならず、我國の労働運動が支離の一次試練期に突入した年であ
つた。

惟は、九州問題に際し我國の國際聯盟脱退を余儀なくせし、爲めに國際平和機構構若者も動搖し、
加之、世界經濟會議は暗礁を失敗に終り、世界各國は争ひを停むるに努力を凝らすに、各國家資本
は悉く排他的の國家主義經濟政策を大膽に推し、この國際的潮流に乗じて、難多る反動諸勢力が蠢動し、思想
政治經濟上の極度の不安に社會情勢は激化して居る。

三、進行を遂げる資本主義の必然的帰結として、我が國の重荷を背負つた資本階級は、國家主義の
看板に依つて、反動諸勢力を擁護し、死の恐怖と危機を以て、資本主義最後の延命策を策する。即
ち、資本の國家主義的の火鋭化は、これに於ては、労働階級に最悪の労働条件を強制し、失業群の過
過する街頭へ更に多くの労働階級を遣放し、労働階級を生命の絶地に迫り、只此一途に労働階
級の犠牲と迫害を伴つてのみ資本主義の延命策を遂行し、外に於ては、ダンピングによる海外新中
場争奪、無軌道の競争、互惠條約の廢棄、依り、關稅高壓、對立競争、新植民地獲得の狂暴
なる批評により、國際經濟競争は、必然に世界武力戦争へ轉換する危機が迫り、労働階級の
苦難は、空前の度に加増する。

重工業中心の九州地方には資本の國家主義的の激化とインフレーション政策の並行は保り、
所謂、軍事インフレーション政策の進行は、労働階級の犠牲を搾取の上で資本の利益は若し
と増大せしめ、然るに、労働階級は、これに於ては、再興の困難以外の産業部門に於ては、被入
的、不況時代の資金に釘付けされ、失業群は依然として街頭へ、物價騰貴が重圧を被り、
労働階級の上のみに強制されて居る。労働階級の生活は、インフレーションに依り、断じて、その
手段を確保し、所得を多くせねば、やがて、軍事インフレーションの行詰りと共に、来る大嵐は、労働階
級の生活を根本的に破壊するであろう。

かゝる労働階級の深刻な横たわつて居る末、今年、我が國の戦線には、益々難
行難の道が續いて居る。我々は、労働運動の最も困難なる九州地方の戦線に於いて、左に講
義に據り、回界、我國を看板に、労働階級を永遠に資本の奴隷化せしめざる、抗軍、並に戦
術的には、共産党と闘ふことのみならず、暴力に依り、社會改革も夢想して、資本主義の更なる
フアツレシヨを徹底的に排斥し、尤に偽裝左翼の流毒なる思想運動を驅逐して、これに毅然と
して、健全なる労働組合主義の大旗を確立した。

我々は、組織労働者三十萬と擁護し、全國の労働組合戦線に統一し、産業別整理へ向き、確
信ある巨歩を踏み出した。日本労働組合會議の實力と信頼を通じ、労働階級解放の大道を
拓き、資本の搾取を克服して、産業に正義を樹てる地方的部署の任務を完全に行し、
並に九州地方協議會加盟団体、親和親睦、統制と緊密にし、進入して、加盟各団体に奮勵して、
未組織労働者の教育組織に全力を注ぎ、眞に労働階級の生活權を確守する、我々の城砦
を強化し、拡大し、この國際的、反動的、戦線に堪へ、労働組合運動の受難を乗り越へ、只此一
路、健全なる労働組合主義の徹底のため、勇往邁進するものである。

昭和八年十一月十三日

日本労働組合會議九州地方協議會第三四年度大會